

7. その他（教員養成の質の向上に係る取り組み等）

○スポーツ科学専攻における教職指導

教員養成の目標・計画で述べた目指す教員像に加え、中学校、高等学校の校種ごとに保健体育教員専修免許状で求める視点を以下にまとめ、履修指導の材料としています。

【中学校保健体育】

発達段階や個人差を踏まえて、学習者ができるだけ多くの運動・スポーツ特性やその魅力に触れ、個人生活における運動と健康についての科学的理解を深め基本的な技能を身に付けるとともに、運動・スポーツの自他の課題発見と課題解決のプロセスを通して、生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、ライフスキルを活用して健康的で豊かなライフスタイル獲得するための方法について修得すること。

【高等学校保健体育】

中学校で求めることに加え、将来の生活を見据え、また成人として健康で明るい社会生活を営むためのスポーツライフを獲得するために健康・運動についての自他の課題や社会の課題に気づき、その解決に向けた思考力、判断力や社会に向けた情報発信等の表現力を身に付けるとともに、ライフスキルを活用して生涯にわたってスポーツライフを継続する力を身に付ける方法について修得すること。